

科目名 (科目番号)	評価実習 (時間割参照)	教員名 高尾 敏文, 他	学科等	理学療法	必修	履修年次	3
			曜日・時限等	時間割表参照	単位数	6	
			授業形態	演習	オフィスアワー	別紙記載	
授業概要		医療施設や介護施設などにおいて、臨床実習指導者の指導のもと、理学療法を実施するために必要な検査および評価の実際について学ぶ。					
目的・目標		目的：①学内の授業で学んできた検査・測定に関する知識・技術を臨床場面で体験する。 ②患者様・利用者様の疾患の特徴や生活背景などを踏まえて理学療法に関わる検査・測定結果を多面的に統合して評価すること、および理学療法の目標設定、ニーズ(問題点)の抽出、プログラム立案までの過程を学ぶ。 目標：理学療法目標設定、ニーズ(問題点)の抽出、プログラム立案ができるようになる。					
準備学習							
授業計画	回	授業項目	到達目標・学習内容				
	1	実習前準備①	到達目標：臨床実習に臨むにあたり必要となる事項について理解する。 学習内容：評価実習全般、個人調書、ハラスメント等についての説明。				
	2	実習前準備②	到達目標：臨床実習に臨むにあたり必要となる事項について理解する。 学習内容：実習中課題、宿泊および移動手段等についての説明。				
	3	実習前準備③	到達目標：臨床実習に臨むにあたり必要となる事項について理解する。 学習内容：実習前評価等（pre-OSCE（評価実習））についての説明。				
	4	実習前準備④	到達目標：臨床実習に臨むにあたり必要となる事項について理解する。 学習内容：実習前評価等（pre-OSCE（評価実習））についての説明。				
	5	実習前準備⑤	到達目標：臨床実習に臨むにあたり必要となる事項について理解する。 学習内容：実習手引き等についての説明、実習指導者会議への参加。				
	6	実習前課題①	到達目標：臨床実習前に、技能・態度面のスキルを習得する。 学習内容：pre-OSCE（評価実習）の受験にむけた演習。				
	7	実習前課題②	到達目標：臨床実習前に、技能・態度面の習得度を把握する。 学習内容：pre-OSCE（評価実習）の受験。				
		臨床実習	到達目標：理学療法目標設定、ニーズ(問題点)の抽出、プログラム立案ができるようになる。 学習内容：医療施設や介護施設などにおいて、臨床実習指導者の指導のもと、6週間の実習を行う。				
	8	実習後課題①	到達目標：症例報告ができる。 学習内容：症例報告会での発表、他学生との意見交換。				
9	実習後課題②	到達目標：臨床実習後の技能・態度面の習得度、成長度を把握する。 学習内容：post-OSCE（評価実習）の受験。					
成績評価の方法・基準		別に定める基準により評価を行う。詳細は実習前準備のなかで説明する。					
教科書		PT・OTのための臨床技能とOSCE コミュニケーションと介助・検査測定編 第2版補訂版		才藤栄一 監修, 金田嘉清 他 編集		金原出版	
参考図書		PT・OT・ST クリニカル・クラークシップ かんたん解説とQ&Aでお悩み解決! きつとうまくいく診療参加型臨床実習		中川法一 編集		南江堂	
教員からのメッセージ		学内で学んだことをきちんと整理したうえで、臨地実習に臨んでください。 実習中は実習指導者の助言を真摯に受け止め、臨床現場でしか得られない学びを自らの知識と結びつけながら、確かな力として身に付けてください。 一般病院等で勤務した理学療法士がこの授業を担当します。					